

## 2024年10月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月14日

上場会社名 株式会社アイエヌホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 132A URL https://in-holdings.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 奈賀 幾次郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 小野 聖司 (TEL) 0979 (33) 7739  
中間発行者情報提出予定日 2024年7月30日 配当支払開始予定日 —  
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年10月期中間期の連結業績(2023年11月1日~2024年4月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期中間期	4,450	5.5	111	△13.0	157	△23.2	106	△22.1
2023年10月期中間期	4,218	—	127	—	204	—	136	—

(注) 中間包括利益 2024年10月期中間期 116百万円(△20.9%) 2023年10月期中間期 146百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2024年10月期中間期	13	42	—	—
2023年10月期中間期	17	23	—	—

(注) 1. 当社は、2022年10月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため、2023年10月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社は、2023年10月23日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、2023年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期中間期	7,267	1,037	14.3
2023年10月期	6,673	921	13.8

(参考) 自己資本 2024年10月期中間期 1,037百万円 2023年10月期 921百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期中間期	371	△407	88	1,220
2023年10月期中間期	310	180	△154	1,340

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	0.00	0.00	0.00
2024年10月期	0.00	—	—
2024年10月期(予想)	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,701	14.3	145	55.3	186	2.7	135	△16.2	17.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－ : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期中間期	9,000,000株	2023年10月期	9,000,000株
② 期末自己株式数	2024年10月期中間期	1,080,000株	2023年10月期	1,080,000株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年10月期中間期	7,920,000株	2023年10月期中間期	7,920,000株

(注) 当社は、2023年10月23日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2023年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、社会経済活動の正常化が本格的に進み景気は緩やかに回復しているものの、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や円安による物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、生産年齢人口減少に伴う労働力不足、燃料価格高騰による運送原価の増大など、多くの課題に直面しております。

このような事業環境の中、当社グループは全社を挙げて営業活動を積極的に展開し、グループ規模の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,450,876千円（前年同期比5.5%増）、営業利益は111,072千円（前年同期比13.0%減）、経常利益は157,020千円（前年同期比23.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は106,258千円（前年同期比22.1%減）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは総合ロジスティクス事業のみであり、その他の事業は開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、2,627,012千円となり90,424千円増加しました。現金及び預金が58,324千円、売掛金が31,780千円増加したことが主な要因であります。

#### （固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、4,640,432千円となり503,526千円増加しました。土地が436,740千円、機械装置及び運搬具（純額）が147,113千円増加し、建物及び構築物（純額）が50,455千円、建設仮勘定が20,664千円減少したことが主な要因であります。

#### （流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、2,696,786千円となり519,498千円増加しました。短期借入金が481,000千円、未払金が29,992千円、未払費用が21,756千円増加したことが主な要因であります。

#### （固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、3,532,876千円となり41,836千円減少しました。長期借入金が124,030千円減少した一方、長期未払金が93,237千円増加したことが主な要因であります。

#### （純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、1,037,781千円となり116,289千円増加しました。親会社株主に帰属する中間純利益が106,258千円となったことにより利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

### （3）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して52,324千円増加し、1,220,949千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は371,470千円（前年同期比19.8%増）となりました。これは主に、法人税等の支払額48,126千円、未払消費税等の減少額44,809千円等により資金を使用したものの、税金等調整前中間純利益161,017千円、減価償却費256,855千円、未払費用の増加額21,756千円等により資金が増加したためであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は407,521千円（前年同期は180,867千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出396,416千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は88,375千円（前年同期は154,595千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の増加額481,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出143,173千円、割賦債務の返済による支出244,811千円等があったことによるものであります。

#### （4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2024年10月期）の連結業績予想につきましては、2024年1月30日に公表いたしました業績予想値からの変更はなく、売上高9,701,735千円（前期比14.3%増）、営業利益145,096千円（同55.3%増）、経常利益186,311千円（同2.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益135,883千円（同16.2%減）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,234,729	1,293,054
受取手形	23,261	17,559
売掛金	1,194,765	1,226,546
電子記録債権	26,139	17,781
商品	7,327	3,238
仕掛品	85	85
原材料及び貯蔵品	17,915	14,997
その他	35,017	55,199
貸倒引当金	△2,654	△1,449
流動資産合計	2,536,587	2,627,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,472,604	1,422,149
機械装置及び運搬具(純額)	530,054	677,167
土地	1,637,980	2,074,720
リース資産(純額)	23,479	21,608
建設仮勘定	21,934	1,270
その他	6,810	6,075
有形固定資産合計	3,692,863	4,202,991
無形固定資産		
のれん	172,763	147,831
その他	3,228	4,727
無形固定資産合計	175,993	152,559
投資その他の資産		
投資有価証券	114,650	129,942
繰延税金資産	28,182	23,209
その他	132,761	139,274
貸倒引当金	△7,545	△7,545
投資その他の資産合計	268,048	284,881
固定資産合計	4,136,905	4,640,432
資産合計	6,673,493	7,267,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当中間連会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	356,380	377,045
短期借入金	329,000	810,000
1年内返済予定の長期借入金	272,963	253,820
リース債務	7,288	8,533
未払金	452,311	482,304
未払費用	522,421	544,177
未払法人税等	47,276	53,480
前受金	15,742	28,244
賞与引当金	34,192	35,692
その他	139,712	103,486
流動負債合計	2,177,287	2,696,786
固定負債		
長期借入金	2,804,084	2,680,054
リース債務	16,668	13,725
長期未払金	700,638	793,876
繰延税金負債	41,558	42,445
その他	11,763	2,775
固定負債合計	3,574,712	3,532,876
負債合計	5,752,000	6,229,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	242,606	242,606
利益剰余金	658,338	764,596
自己株式	△91,200	△91,200
株主資本合計	909,744	1,016,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,748	21,779
その他の包括利益累計額合計	11,748	21,779
純資産合計	921,492	1,037,781
負債純資産合計	6,673,493	7,267,444

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	4,218,263	4,450,876
売上原価	3,519,742	3,772,851
売上総利益	698,520	678,025
販売費及び一般管理費	570,836	566,952
営業利益	127,684	111,072
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	4,439	2,761
受取保険金	18,414	26,056
助成金収入	57,559	9,177
受取出向料	1,860	8,210
その他	8,116	13,036
営業外収益合計	90,397	59,248
営業外費用		
支払利息	12,973	12,282
その他	730	1,018
営業外費用合計	13,704	13,300
経常利益	204,376	157,020
特別利益		
固定資産売却益	1,292	3,997
投資有価証券売却益	5,396	-
特別利益合計	6,689	3,997
税金等調整前中間純利益	211,066	161,017
法人税、住民税及び事業税	76,170	54,009
法人税等調整額	△1,591	750
法人税等合計	74,578	54,759
中間純利益	136,487	106,258
親会社株主に帰属する中間純利益	136,487	106,258



②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
中間純利益	136,487	106,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,456	10,031
その他の包括利益合計	10,456	10,031
中間包括利益	146,943	116,289
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	146,943	116,289
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	242,606	496,241	△91,200	747,648
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する 中間純利益			136,487		136,487
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	-	136,487	-	136,487
当中間期末残高	100,000	242,606	632,729	△91,200	884,135

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	△7,048	△7,048	740,599
当中間期変動額			
親会社株主に帰属する 中間純利益			136,487
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	10,456	10,456	10,456
当中間期変動額合計	10,456	10,456	146,943
当中間期末残高	3,408	3,408	887,543

当中間連結会計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	242,606	658,338	△91,200	909,744
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する 中間純利益			106,258		106,258
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	-	106,258	-	106,258
当中間期末残高	100,000	242,606	764,596	△91,200	1,016,002

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	11,748	11,748	921,492
当中間期変動額			
親会社株主に帰属する 中間純利益			106,258
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	10,031	10,031	10,031
当中間期変動額合計	10,031	10,031	116,289
当中間期末残高	21,779	21,779	1,037,781

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	211,066	161,017
減価償却費	240,246	256,855
のれん償却額	24,933	24,933
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,881	1,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△951	△1,205
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△100,000	-
受取利息及び受取配当金	△4,446	△2,769
支払利息	12,973	12,282
受取保険金	△18,414	△26,056
助成金収入	△57,559	△9,177
固定資産売却益	△1,292	△3,997
投資有価証券売却益	△5,396	-
売上債権の増減額(△は増加)	△168,450	△17,721
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,488	7,008
未収入金の増減額(△は増加)	2,139	△18,215
仕入債務の増減額(△は減少)	46,160	20,665
未払費用の増減額(△は減少)	101,165	21,756
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,947	△44,809
その他	△7,826	11,691
小計	261,793	393,759
利息及び配当金の受取額	4,446	2,373
利息の支払額	△12,544	△13,152
保険金の受取額	18,414	26,056
助成金の受取額	57,559	9,177
法人税等の支払額	△24,931	△48,126
法人税等の還付額	5,429	1,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,167	371,470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	30,000	-
有形固定資産の取得による支出	△76,891	△396,416
有形固定資産の売却による収入	2,286	3,997
無形固定資産の取得による支出	-	△2,100
投資有価証券の取得による支出	△179	△151
投資有価証券の売却による収入	105,418	-
保険積立金の解約による収入	139,265	-
その他	△4,032	△6,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	180,867	△407,521
財務活動によるキャッシュ・フロー		

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
短期借入金の純増減額(△は減少)	201,000	481,000
長期借入れによる収入	27,840	-
長期借入金の返済による支出	△155,709	△143,173
リース債務の返済による支出	△8,035	△4,640
割賦債務の返済による支出	△219,691	△244,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,595	88,375
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	336,439	52,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,004,035	1,168,624
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,340,475	1,220,949

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、総合ロジスティクス事業を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。